

2019年(令和元年)10月3日 (2)

西日本豪雨など知見共有

技術士会中国
上下水道部会
講演会で4氏登壇

日本技術士会中国本部
上下水道部会(今井田敏
宏部会長)は8月24日、
広島市内で2019年度
講演会を開催した。

浄水処理技術や平成30
年7月豪雨対応など上下
水道事業に関する実事例
を取り上げ、知見共有を
図った。

会場には64人が参加し
たほか、3カ所を結んだ
WEB中継(統括本部・
近畿本部・四国本部)を
含めると計113人が聴
講した。
講演会では基調講演1



松山部会長



今井田部会長

題と講演3題を展開。

このうち基調講演では
大田啓一・滋賀県立大学
名誉教授が「水処理技術
の今日的課題」について
私見を述べたほか、水道
事業に係る講演として

岡田淳・広島市水道局
技術部維持課長が「平成
30年7月豪雨災害時の対
応」、西川源太郎氏(積
水化学工業環境・ライフ
ラインカンパニー総合研
究所商研開発センター)

が「給水用高密度ポリエ
チレン管の耐震性評価」
をテーマにそれぞれ講演
した。

講演のうち、平成30年
7月豪雨で被災した管路
施設を中心とする仮復旧
・復興状況について説明
した岡田課長は、教訓と
して「豪雨災害に起因し
た土砂撤去や法面復旧
は、管工業者はもとよ
り土木業者との連携・協

会員増へ積極活動展開

技術士会中国
上下水道部会
19年度例会を開く

日本技術士会中国本部
上下水道部会(今井田敏
宏部会長)は8月24日、
広島市内で2019年度
例会を開き、19年度事業
計画など計3議案を審議
し、承認した。

技術士会統括本部上下水
道部会長は「今回から統
括本部の部会長選出が選
挙制となるなど、新たな

取組みを進めているとこ
ろ。これを機に統括本部
と各地域本部との連携を
より一層強化していきな
い」と述べた。

議題審議のうち、承認
された19年度事業計画で
はWEB中継も含めた定
例講演会の開催や施設見

力関係が必要と感じた。
これまで本市では地震を
主眼とした災害対策を進
めてきたが、今後は豪雨
災害にも十分に配慮した
検討が欠かせない」と対
応の方向性を示した。
あいさつに立った今井
田部会長は「本講演の知
見が日々の業務における
課題解決のヒントになれ
ば」と述べた。

学会の実施等を通じて各
会員の知見向上に資する
活動が盛り込まれた。
また、情報提供として

文部科学省の分科会を中
心に検討・作業が進めら
れている技術士制度改革
(更新制の導入など)の
進捗等も共有された。

例会の冒頭、あいさつ
に立った今井田部会長は
「当部会会員数は昨年に
比べて10人増となった
が、今後も会員数をどう
増やすかが課題の一つ。
5年目を迎える活動経験
を生かし、より積極的な
活動を通じた会員増につ
なげたい」と意気込みを
語ったほか、来賓として
登壇した松山正弘・日本